

ファイターズへの提案〔H29.4.13〕

提案後の報道機関に対する説明概要（札幌市長）

今日ですね、私の方からファイターズさんの方に新球場建設構想にあたり、札幌市としての基本的な考え方というものを提案させていただきました。

冒頭の挨拶の中でもお話をさせていただきましたけれども、プロスポーツが持っている地域に根ざした文化、そして地域の財産というこのプロスポーツをさらに街づくりの中で生かしていきたいという思いの中で、新球場の建設構想にあたって、多くの市民の方が札幌市内で移転して欲しいというその思いを踏まえた提案をさせていただいたところであります。

私の方からは、まずは基本的な札幌のまちづくりの中にプロスポーツという文化、根付いた文化というものを生かしていくという基本的なコンセプトをもとに、ソフト面とハード面、この両面からのまちづくりで球団さんと一緒にやっていけないかという提案をさせていただいたところであります。

ソフト面につきましては、『街中に賑わいを広げていく』ということ、それから『暮らしをもっと豊かにしていく』ということ、3つ目として『次世代を健やかに育む』、この3つのことからプロスポーツの力をまちづくりに生かしていくための提案をさせていただきました。

それから、ハード面のコンセプトといたしましては、『多くの方が来場しやすい場所であるということ』の提案、それから『快適な交通環境、会場に行くまでの交通環境の創出』、さらには『スポーツ・食・健康をテーマとした新しいコミュニティエリアの形成』ということの3つを掲げまして、これを踏まえて、候補地につきましては、「北海道大学構内」と「共進会場跡地周辺」の2つの地域の提案をいたしました。

「北海道大学構内」につきましては、『北海道大学が持つ知見を活かした食・健康・スポーツによる先駆的な研究拠点』、また、「共進会場跡地周辺会場」につきましては『食・農をテーマとした北海道を象徴する新たな広場空間』という形での整備をイメージした上で、いずれの候補地についても野球の試合の有無にかかわらず、いつでも市民が集い、憩える場所、こういったものにしていきたいという提案をさせていただいたところであります。

ファイターズさんにおかれましては、地域に根ざした球団として、市民に愛される球団であり続けて欲しいという思いを持っておりますし、ぜひ札幌市民にとってもハッピーなそういう検討をしていただければと思っております。

私からは以上でございます。

以上